

もっと知りたい、健康のこと。

静岡赤十字病院広報誌

2018年・新春号

vol.346

|季|刊|発|行|

# 日赤News

【特集】

## 早期受診が重要! 呼吸器疾患への 外科的アプローチ

ほっとニュース

災害救護は赤十字の人道的使命

災害時の円滑な医療活動のために  
大規模災害救護訓練を実施!

しずおかクロスNAVI

受診の際は必携です

持っていますか?お薬手帳

information

「糖尿病教室」のお知らせ

「腎臓病教室」のお知らせ

「赤十字講習会」のお知らせ

入院アンケートにご協力をお願いします

写真は当院で働くスタッフが毎月出ます。

注目の  
トピックス

今号のテーマ: 呼吸器疾患

早期受診が重要!

# 呼吸器疾患への 外科的アプローチ

私たちひとりひとりの生命維持に大きな役割を果たす呼吸器。日本人男性の死因トップである「肺がん」や芸能人の罹患をきっかけに知られるようになった「自然気胸」など身近な病気と治療方法について外科の観点よりお話を伺いました。

教えて  
ドクター  
Q & A

呼吸器外科 部長  
稲葉 浩久 医師

呼吸器外科部長として年間90例以上もの症例を手がけるほか、災害発生に当たって複数のDMATをまとめる「統括DMAT」の資格を有し、県および当院の災害医療コーディネーターも兼務。多忙な職務の間には清水エスパルスにもかかわるなど、地元愛に厚い。

Q 気胸になるとどんな症状が出るの？  
どんな治療を行う？

A 気胸とは肺がパンクして縮んでしまう病気です。気胸になると胸・背中  
中の痛みや息苦しさを感ずるようになります。症状や痛みの感じ方  
には個人差があるので自己判断は難しいです。治療はまず胸の中に管  
を入れて漏れた空気を抜き、縮んだ肺を上げますが、再発も多いため、状  
態や状況により肺嚢胞を除去する手術が行われます。術後は飲食や運  
動などの制限はなく、通常通りの生活を送ることができるようになります。

Q 気胸になりやすい人はいますか？ 予防法はある？

A これという理由もなく自然に肺嚢胞ができてしまう自然気胸は、  
15-20歳の若いやせ型の男性に多く、一説には胸郭の成長に  
肺組織の成長が追いつかないためとも言われています。この場合予  
防は難しいため、早期発見と治療が最善策。一方、成人や高齢者で  
はタバコによる肺組織の破壊である肺気腫が原因として指摘されて  
います。タバコを吸っている人はまずは禁煙から。

Q 高齢でも肺がんの手術を受けられるって本当？

A かつて高齢者の肺がん手術は推奨されなかった時代もありまし  
たが、現在は年齢を理由に手術を避けるということはありません。  
がんの種類や大きさ、全身麻酔に耐えられるか、肺機能はどうかなど、  
患者それぞれの状態を見て個別に判断します。中には、80代や  
90代でも手術を受けている方もいらっしゃいます。



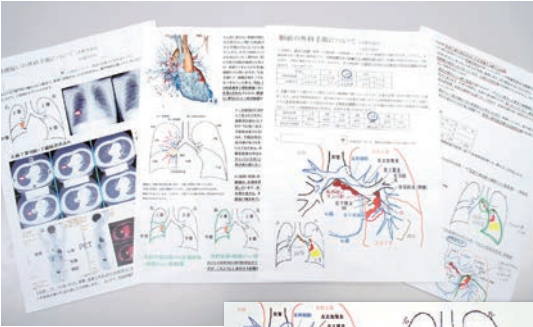
## 胸部でおきた病気やケガ すべてを診る呼吸器外科

産声を上げた瞬間から息をひきとる最期の時まで、ほとんど意識することなく行われている呼吸。呼吸は私たちの生命維持のために欠かせない存在ですが、「呼吸器外科」という診療科にはあまりなじみがないかもしれません。

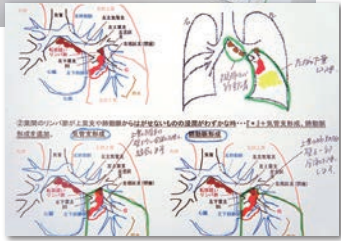
「人間の胸部にはいろいろな器官があります。当科で取り扱うのは心臓・血管・食道を除いたすべての器官。具体的には肺や気管支といった呼吸器、胸腺や神経など左右の肺の間にある縦隔臓器、さらに肋骨や横隔膜といった胸郭部位など」と教えてくれたのは呼吸器外科部長の稲葉医師。様々な対象



誠実な人柄で患者からの信頼を集める稲葉医師。長年の術経験に基づき、術後の状況まで考えて最善を尽くす



手描きで色分けされたスケッチ入りの手術説明資料。すべての患者に手渡しているという



疾患の中から、特に多いふたつの疾患についてお話を伺いました。

### 「肺がん」は女性にも増加中 重く考えたい受動喫煙

日本人男性の死因のトップとして知られている肺がん。「肺がん手術による死亡率自体は大変低いのです。しかし喫煙者の数がまだ多すぎて、患者さんの数はいつこうに減りません。体に不調をきたしてから禁煙する方は多いのですが、肺が健康な状態になるまで15年もかかります。肺が元の状態に戻るまでのがんを発症してしまうというのは十分にあり得ること」と稲葉医師。近年は喫煙習慣のない女性の肺がんも増加傾向にあり、そ

の背景には副流煙による長年の受動喫煙が指摘されています。「女性に増えているのは、肺がんの中でも『腺がん』という種類のがん。比較的進行が遅いため、早期発見できれば手術で除去できる可能性が高いがんですが、レントゲン撮影で影が見える頃には症状が進んでしまっていることもありま。家族と自分の健康を考えて、タバコは1日も早くやめたいものです」（稲葉医師）

### 予防が難しい「自然気胸」 早期の治療と手術が有効

数年前に人気アイドルが罹ったこともあり、広く知られるようになった自然気胸。「体質や喫煙の影響により、肺の一部に肺嚢胞と呼ばれる風船状の組織ができることがあります。この肺嚢胞が何らかのきっかけで破裂して空気が漏れると、胸腔の中で肺が圧迫されて縮んでしまいます。この状態が気胸です。内科療法で治ることもありますが、手術で肺嚢胞を除去すれば再発も少なく、その後の生活に支障をきたすことはほとんどありません」（稲葉医師）痛みの感じ方には個人差があり、自己判断は難しいもの。不調を感じたら早めに受診し、症状が軽いうちに治療を受けることが最善策と言えます。

## ▶ INFORMATION

### 入院アンケートにご協力をお願いします

当院に入院される患者の皆様へ

「入院のしおり」と一緒に黄色い入院アンケート用紙を配布しています。医療サービスの向上・今後のより良い病院づくりのため、率直なご意見をお願いします。



提出は各病棟ナースステーションに設置の回収箱へお願いします

## 表紙を飾った静岡赤十字病院スタッフ

作業療法士 左から  
野上憲三さん 菊地弥月さん



病気やケガが原因で身体に不自由さを抱える患者さんに対し、日常生活に必要な能力を高める訓練を行うのが作業療法士の仕事。「患者さんとはほぼ毎日顔を合わせ、1対1で指導にあたります。できなかったことが少しずつできるようになった時は、自分のことのように嬉しい!」。明るく暖かなリハビリ室の雰囲気そのままに、撮影中も笑顔の絶えないお二人でした。



## 災害救護は赤十字の人道的使命 災害時の円滑な医療活動のために 大規模災害救護訓練を実施!

災害救護活動は赤十字の重要な使命。地震や台風などの大規模災害の発生時には、全国の赤十字病院から救護班を被災地に緊急派遣するなど迅速な救護活動を展開できる体制を整えています。

その体制作りの一環として、去る平成29年11月25日に当院において大規模災害救護訓練を実施しました。平成28年12月のグランドオープン以来初となる大規模災害訓練、今回は南海トラフを震源としたM9.0レベルの地震が発生、さらに発災後に院内で火災が発生したことを想定して

行われました。訓練には約250名の職員が参加、災害対策本部の立ち上げから模擬患者でのトリアージ実施、各診療エリアからの負傷者受け入れなど、一連の行動を確認しました。

当院では災害拠点病院として万一の災害時に円滑な医療活動ができるよう、今後も訓練を実施して参ります。



受付カウンターや外来は災害時にトリアージや診療スペースとして使用できるよう整備されています



外来待合で使用しているソファは、災害時にはベッドになります

## INFORMATION インフォメーション

### 「糖尿病教室」のお知らせ 15:00~

糖尿病について (糖尿病専門医・村上医師)

…2/2(金) 3/2(金) 2号館4階第1会議室

※やむを得ない都合等により中止となる場合がありますのでご了承ください(電話でお問い合わせください)

食事について (管理栄養士) …1/9(火) 2/6(火) 3/6(火)

検査・運動について (臨床検査技師・理学療法士) …1/12(金) 2/9(金) 3/9(金)

食事・薬について (管理栄養士・薬剤師) …1/19(金) 2/16(金) 3/16(金)

網膜症・日常生活について (視能訓練士・看護師)

…1/26(金) 2/23(金) 3/23(金)

糖尿病教室食事会 11:30~ …1/17(水) 2/21(水) 3/14(水)

申し込み・お問い合わせは、2号館栄養課まで

TEL.054-254-4311(代) / 内線3103 当院に受診されている方が対象となります。

### 「腎臓病教室」のお知らせ 15:00~

腎臓病について … 1/23(火)

場所:2号館4階 第1会議室 どなたでも無料で受講できます。直接会場へお越しください。

※平成30年から腎臓病教室は3ヶ月に1回の開催となります。

### 「赤十字講習会」のお知らせ

「災害時高齢者生活支援講習」… 2/6(火) 14:00~16:00

~被災した高齢者の避難所生活を支援するための知識や技術を学びます~

日本赤十字社静岡県支部ホームページからお申し込みください。

暮らしに役立つ情報をおとどけ

## しずおかクロス NAVI

ポイントは1人1冊に  
まとめること!

今回は、調剤や入院患者さんの服薬指導のほか各種教室でも活躍中の薬剤部から。



受診の際は必携です  
持っていますか?  
お薬手帳

いつどんな薬を処方されたかを正確に記録する「お薬手帳」。すでに活用されている方も多いのですが、大切なのは病院別に分けたりせず1人1冊にまとめること、処方された薬を継続して記録すること。これにより薬の重複や飲み合わせがチェックでき、手術前の薬の確認も容易になります。副作用やアレルギーの記録があれば他院を受診する時も安心です。まだお持ちでない方は当院窓口でお渡しますので、お気軽に声をかけてください。